

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 言語学

試験科目 言語学 科目

以下の問 1 から問 4 に答えなさい。答案用紙は 1 問につき 1 枚とします。

- 問 1
日本語において、「北」の第一音節の母音は無声化することが多い。これは「母音の無声化」と呼ばれる現象である。また、「戸棚」の第二音節の子音は有声音で発音される。これは「連濁」と呼ばれる現象である。この二つの現象にどのような違いがあるか、「異音」、「音素」、「形態素」という用語を用いて説明しなさい。
- 問 2
日本語の文法で助動詞に分類されている「れる」「られる」には複数の用法があるとされている。用法の判別には共起する単語の意味も関わるが、統語的な手がかりによっても、これら複数の用法は区別することができる。「れる」「られる」の用法を判別するための統語的な手がかりについて言語学の用語を用いて述べなさい。
- 問 3
系統関係がある諸言語の系統的下位分類の方法について具体的に論じなさい。
- 問 4
以下の術語のうち 2 つを選び、それぞれ 4 行程度で説明しなさい。
- (i) 有気音 (aspirated consonant)
 - (ii) 基底表示 (underlying representation)
 - (iii) 民間語源 (folk etymology)
 - (iv) 基本語順 (basic word order)

大学院入学試験問題
一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語学

試験科目 日本語学

(一) 次の項目のうち、五つを選んで知るところを述べなさい。

- ① 石塚龍麿
- ② 片仮名
- ③ 変格活用
- ④ ハ行転呼音
- ⑤ 清濁
- ⑥ 荻生徂徠
- ⑦ 喚体句
- ⑧ 借用語

(二) ブログや SNS などインターネット上の用例を日本語の研究資料として用いる意義と留意点について
論述しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語学

試験科目 古文解釈

次の文章は、『雨月物語』「浅茅が宿」の一節である。全文を現代日本語に訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語学

試験科目 日本語資料解説

次の資料は、ある著名な文献資料の一部である。この文献について知るところを述べなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

次の問 1 ～問 6 の中から 4 問を選び、答案用紙に答えを書きなさい。答案用紙は 1 問につき 1 枚を使い、選んだ問題の番号を記入すること。

問 1

次の(1)-(5)から 2 つ選んで、具体例を挙げながらそれぞれ 300-400 字程度の日本語で解説しなさい。

- (1) インプット仮説 (input hypothesis)
- (2) 中間言語 (interlanguage)
- (3) 社会文化的アプローチ (sociocultural approach)
- (4) 与えられた条件のもとでの関連性 (conditional relevance)
- (5) 結束性 (cohesion)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 2

近年、日常の相互行為を録音・録画し、それを詳細に書きおこしたものをデータとして扱う文法研究が盛んになりつつある。これらの研究では、相互行為のデータを用いることで、従来の文法研究では視野に入ってこなかった文法現象に光が当てられ、相互行為の資源としての文法の役割に関するさまざまな知見が蓄積されつつある。「相互行為の資源としての文法の役割」について、具体的な文法現象を挙げて説明し、そうした知見の日本語教育実践への応用について意見を述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 3

日本語教育において、学習者の母語を使って教えた方がよいという立場と、学習者の母語を使わずに教えた方がよいという立場がある。どちらが教育上ふさわしいと思うか、あなたの考えを述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 4

次の(1)～(5)のすべての文に共通する特徴について、意味と形態、構文の面から説明しなさい。

- (1) 彼の目には美しい日の光が映っていた。
- (2) 宇宙から帰還した飛行士には骨の退化が見られた。
- (3) 花子の所作には育ちの良さが感じられる。
- (4) 一夫には他人への配慮がいつも欠けている。
- (5) 奥の棚にはたくさんの古い蔵書が並べてあった。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 5

- 1) 以下の A の語は存在する（使われる）が、B の語は存在しない（使われない）。A の語と B の語にはどのような違いがあるかを説明しなさい。
- A たたき割る、焼け死ぬ、笑い転げる、預け入れる、降り積もる
B たたき割れる、焼き死ぬ、笑い転がす、預け入る、降り積む
- 2) 以下の C の語と D の語にはどのような違いがあるかを説明しなさい。
- C 焼け死ぬ、降り積もる、走り疲れる、飲みつぶれる、聞き知る
D 泣き叫ぶ、慌てふためく、驚きあきれる、思い描く、忌み嫌う

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学

試験科目 科目

問 6

- 1) 次の 2 つの文は、どのような違いがあるか、説明しなさい。
(1) わたしは中国から来た留学生です。
(2) わたしが中国から来た留学生です。
- 2) 次の 2 つの文は、どのような違いがあるか、説明しなさい。
(3) わたしは家に帰ったら、ランニングに行く。
(4) わたしが家に帰ったら、ランニングに行く。
- 3) 「は」と「が」の使い分けについて、1)、2)以外の例文も挙げながら説明しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人 文 学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 応用日本語学

試験科目 科目

※以下の問題 1 は全員解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。

問題 1 以下の (1) ～ (7) の中から 4 つを選び、説明せよ。その際、必要であれば具体例をあげること。

- (1) サイレント・ウェイ
- (2) サバイバル・ジャパニーズ
- (3) 集団基準準拠テスト (NRT)
- (4) 統合的動機づけと道具的動機づけ
- (5) 外国人集住都市会議
- (6) 特殊拍
- (7) パラ言語

※以下の問題 2 ～ 4 の中から 2 問を選び、解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。答案用紙は 1 問につき 1 枚使用すること。答案用紙には、選んだ問題の番号を記入すること。

問題 2 教師と学習者とのインターアクションの中で否定的フィードバック (negative feedback)、あるいは訂正フィードバック (corrective feedback) は教師に期待される教育活動の一つである。その中の「リキャスト (recast)」とは何かについて述べよ。また、日本語の文法項目の中で、学習者の誤りを例として取り上げてリキャストの例を述べよ。

問題 3 ポートフォリオ評価の利点と欠点を説明せよ。そのうえで、eポートフォリオが従来のポートフォリオ評価の欠点をどのように補完するかについて述べよ。

問題 4 「日本語の授業では、学習者が現実の文脈で体験する自然な会話を、できるだけ多くインプットさせた方がよい」という考え方がある。それに対し、賛成および反対それぞれの立場から、その理由を述べよ。その際、日本語教育、第二言語習得、教育工学等の理論に基づいて述べること。

・専門筆記試験の出題の意図

名古屋大学大学院人文学研究科の各学繫に置かれた教育プログラムに従って授業科目を履修し、研究指導を受けるにあたり必要となる十分な専門知識と研究能力を有しているかを、分野・専門ごとの論述問題によって問う。

・口述試験の実施方法や試験内容

受験者が志望する分野・専門の教員を含む複数名の教員により個別に面接（15分程度）を行い、卒業論文またはこれに代わるもの及び出身学校の学業成績等に係る試問により、当該分野・専門で修士学位論文の作成に向けた研究指導を受けるための基礎的な能力を有していることを確認する。